

れている主要なもの

- (1) 組織は高いピラミット型にせず、可能なかぎり平坦な形にし、権限を下部に委譲する。
- (2) 職務内容を拡大し、仕事に幅をもたせて職務の単調化をさける。
- (3) 参加的な、あるいは従業員中心的な、リーダーシップを身につけた管理者を養成する。
- (4) 人間形成としての企業内教育（道徳教育ではなく、成熟したパーソナリティへの成長を援助するための教育）を重視する。特に、職長、管理者、幹部職員に精神的未成熟者がいる場合の影響は大きい。
- (5) 従業員に対する個別管理の充実、たとえば*カウンセリングの導入等。
- (6) 社会工学的職能を担当するスタッフの導入、あるいは養成などである。

以上のような対策により、企業の人間関係の体質を改善することの必要性は、今日、技術革進の加速度的進行により、企業が要求する従業員のイメージが著しく変化しつつあるということによって、拍車をかけられる傾向がみられる。すなわち、型にはまった職務の忠実な遂行というよりも、変化する事態に柔軟に、創造的に適応しようとする従業員が、ますます必要になりつつある。そして、そのような従業員とは、健康な成熟したパーソナリティをもつ個人であり、その個人がもつ強い自己実現と独立の欲求を抑圧するのではなく、十分に発揮しようとする産業組織への変革の努力が芽ばえつつある。[創造性の開発][能力開発]とかが強調されはじめた最近の傾向は、その前奏曲ともみられる。

参考文献 永丘智郎編 産業適応ハンドブック。CHRIS ARGYRIS, Personality and Organization 1957 (伊吹山太郎ほか訳 組織とパーソナリティ)。早坂泰次郎述 職場適応の心理学(兼宇宙ほか編 経営心理学講座2)。R. Likert; new patterns of management(三隅二不二訳 経営の行動科学)。

(相馬紀公)

じょせつきつきかしゃいどうき 除雪機付貨車移動機

これは貨車移動機に除雪機を取り付けたもので、入換えおよび除雪作業を行なう。その除雪機の形式により、次のように分類する。

1 ロータリ式除雪機付貨車移動機(写真-1)

10t 貨車移動機の前部にロータリ式除雪機をリンクで取り付けた構造で、降雪期に入換作業はロータリを付けたまま行ない、その他はロータリをはずして入換専用を使用するものである。

ロータリ式除雪機は、スクリュ状のカッティングロータで雪

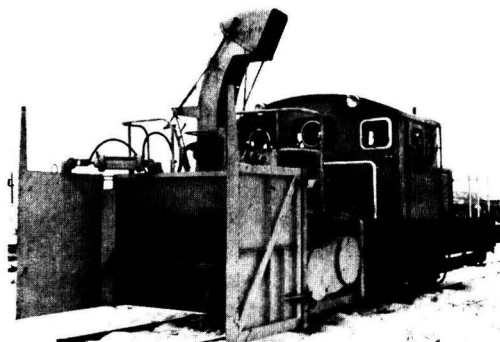


写真-1 昭和39年度新製ロータリ付貨車移動機(ニイガタ形)

を中央に集め、ブローによって投雪する構造で、シュートおよびウイングを備える。シュートは投雪方向および投雪距離を調節し、雪捨て列車の貨車積み等に有効である。ウイングを開くと幅約4mまで除雪できる。

またレール間の除雪用にはフランジヤを備え、レール面下30mmまで除雪する。この機械の駆動装置は、1台のエンジンからエンジンクラッチを経て、歯車減速機により除雪部と走行部に分けるもので、この走行部は静油圧駆動である。

この油圧駆動方式は、除雪ロータリの仕事量に応じた必要な走行速度を自由に選ぶことができるもので、1本のポンプレバーにより、増減速、逆転を行なうことができる。

また油圧ブレーキも可能である。このほか特殊な圧力制御弁の使用により、力行運転-惰行運転-力行運転という操作を容易に円滑にできる。

単車制動は油圧ブレーキを使用するが、けん引時は惰行回路に切り替えた後、空気ブレーキを使用する。このほか、降雪期入換えに必要な転向装置は移動機中央部に備える。この上下操作は、ロータリの上下、ブローケースの転向、ウイングの開閉およびフランジヤの上下等と同じく、走行油圧部とは別個のギャポンプによる油圧操作である。

おもな機能は次のとおりである。

自重	t	10
けん引重量	t	160
除雪幅	mm	2,500~4,000
除雪高さ	mm	1,400
除雪量	t/h	約 600
投雪距離	m	約 18
走行速度	低速最大 km/h	約 19
	高速最大 km/h	約 40
除雪速度	km/h	1~5
機関	PS/rpm	125/2,000
動力伝達方式	走行	油圧ポンプモータ
	除雪	歯車減速機
制動方式	空気式	

2 ブラウ式除雪機付貨車移動機(写真-2・3)

降雪量の比較的小さい地区、あるいは軽い雪質の所に配置するラッセル式には、V形と片寄せ形がある。2線以上の構内で、線間に雪を残さないために、片寄せ形が使用される。この構造は10t貨車移動機の前後に、ラッセルを取り付けたもので、レール間の除雪用にフランジヤが取り付けられている。ウイング開閉およびフランジヤの上下等は空気操作である。

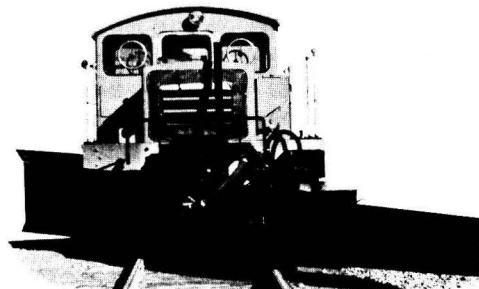


写真-2 片寄せ形スノーブラウ式

降雪期はスノーブラウを取り付けたまま入換作業を行なうが、その際にV形はウイングを閉じると、そのまま使用できる。また片寄せ形はウイングを閉じ、ブラウ前端を折りたたむだけで、